

岩登りトレーニング

齋藤 宇

■山行年月日:2021年4月11日

■メンバー:齋藤憲一、大竹幹衛、大竹尚子、石川貴大、杉崎圭洋、田中秀一、増田寿代、齋藤宇

■コースタイム:道の駅みしま 9:00～天狗岩 9:30～14:30

早戸トンネル手前のスノーシェッドの間から岩場へ。快晴。早春でも山菜たちが芽吹きそうな陽気だ。南面に向いたこの岩場の高さは最大 80m、東西の全長が 200mほど。手つかずの状態なので浮いている岩も多い。

トレーニングとして計画したわけだが、本音はグレンデ開拓の目的もある。テラス状のスノーシェッドの上が広く平坦なベースとして最高。岩場を眺めたり、ルートをイメージしたりしてみる。トップロープでのルート工作からとり

かかる。各自 50m ロープを背負い、西側から岩場上部に回り込んで懸垂。下降途中にブッシュに絡みロープがキンク。捌くのに時間がかかる。中間点の太いブッシュにあたりをつけて下ってみるが、残念なことにロープが足りない。慎重に、安定し

た場所を探すのにも時間がかかり予期せぬ状態にフォローとの意思疎通もうまく図れない。結局午前は登って降りただけになってしまった。午後は東側からの偵察。長いルンゼとカンテが気になる。回り込んで上部へ。今度は丁寧にロープを捌き、よく観察しながら下降。中間部に太い松の木があり、これを支点にトップロープで遊べそうかな。ただ、手つかずのためイメージしたルート上の浮石だけでも落としきらなければ落石が怖い。岩場開拓には何度も通う必要がある。今回は岩登り訓練までに至らずロープワーク訓練となってしまった。

天狗岩

